

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C 5 - 1 - 2	事業名	(32) 避難誘導施設整備事業
------	---------------	-----	-----------------

事業概要	
------	--

【事業概要】

名籠漁港背後集落では、東日本大震災においてほぼ全家屋99.6% (252件) が被災し、半壊以上の割合が8割 (209件) に及ぶとともに、集落と主要な町道を連絡する道路の狭隘な状況が障害となり、地震発生直後の円滑・迅速な避難に支障を来す状況が見受けられた。また、震災による地盤沈下によって、海水の流入や雨水の排水不良等が生じており、復旧・復興のための諸活動はもとより、集落住民の日常生活や地域コミュニティ活動にも支障を来している。本事業は、著しい被害を受けた集落において、被災集落再生の基盤となり、災害時に集落住民が円滑に高台・避難所へ避難することができる道路整備に向けた調査設計を行うものである。

- ①梅ヶ沢地区 : L=160m、W=4m (現況幅員概ね3.0m)
- ②名籠地区 : L=210m、W=4m (現況幅員2.2m~3.2m)

【基幹事業との関連性】

基幹事業である「漁業集落防災機能強化事業 (手樽地区) [直接補助分]」では、震災で地盤沈下した名籠漁港背後集落に点在する小集落の地盤嵩上げ及び道路・排水施設の整備を行うが、本来的な漁業集落環境・地域コミュニティの再生・復興には、安全・安心な居住環境の基盤を構築する道路整備が不可欠である。本事業により住民がより安全かつ迅速に避難施設への避難が可能となる避難動線が確保され、当該集落の防災機能の向上を促進するものである。

【事業予算内訳】 道路整備に向けた調査設計費 : 17,506千円

- (内 訳) ①梅ヶ沢地区 : 7,602千円
- 1) 測量費 (L=160m A=11,070㎡) : 6,424千円
 - 2) 設計費 (L=160m、W=4m) : 1,178千円
- ②名籠地区 : 9,904千円
- 1) 測量費 (L=210m A=13,320㎡) : 8,304千円
 - 2) 設計費 (L=210m、W=4m) : 1,420千円
 - 3) 用地調査等 (A=400㎡) : 180千円

